鷺神社　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒

当社は神武の頃「鷺の森明神宮」として勧請された。

往古、神の森より足を病んだ白鷺が、昼は沢田にたたずみ、夜は神の森に立ち帰った。郷人が白鷺のたたずむ跡にいってみれば、地中より薬湯がわきでており、郷人は温泉場となし塩湯郷と称した。

諸人、入浴を試み始めた頃より白鷺が姿をみせなくなったので、これは神の森の祭神である少彦名命が白鷺を使わして薬湯を人々に知らしめたとして霊験を感じ、以降鷺の森明神と称され尊崇された。

美作鏡写し（本社所存）によれば、この噂が地検を行った僧行基により都に伝えられ聖武天皇（724~749）が天平１０年勅を下して社殿の新築、奉幣を下された。天平１２年には、封戸１２戸、位田６町を下された。その繁栄ぶりは朝日の豊栄昇るがごときであったといわれる。

世が変わり乱世の時代、大永年間（1521~1527足利幕府）三星城主後藤基兼が当社を一宮として、前田式部承を京都から呼び寄せ文学の師及神官を命じ、後藤家守護神社として崇敬し、隆盛を極めた。しかし毛利勢の中国平定で宇喜多秀家が三星城を落城させたことにより没落、本神社も消失し、神宝、旧記を失った。

その後美作が森家になるころ、郷人により社は再建され村人の氏神として親しく崇められている。秋の大祭に大傘桙が子供を従えて村道を練り歩く姿は有名である。また、神社には平賀元義と親交のあった神職が居り、ゆかりの品が多数保存されている。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	15050
神社名	鷺神社（サギジンジャ）
通称名	
旧社格	郷社
鎮座地	〒707-0052 美作市位田742
電話番号	0857-27-5151
FAX番号	0857-27-7461
駐車場	無
御祭神	大穴牟遅尊,少名毘古那神
御神徳	
主な祭典	３月２０日：春季恒例祭 ７月３１日：夏越の祓 １０月１０日：例大祭
宮司宅電話	0857-27-4350
URL	
e-mail	

特記事項

氏子地域　美作市（位田、稲穂、岩見田、金原、城田、長内）

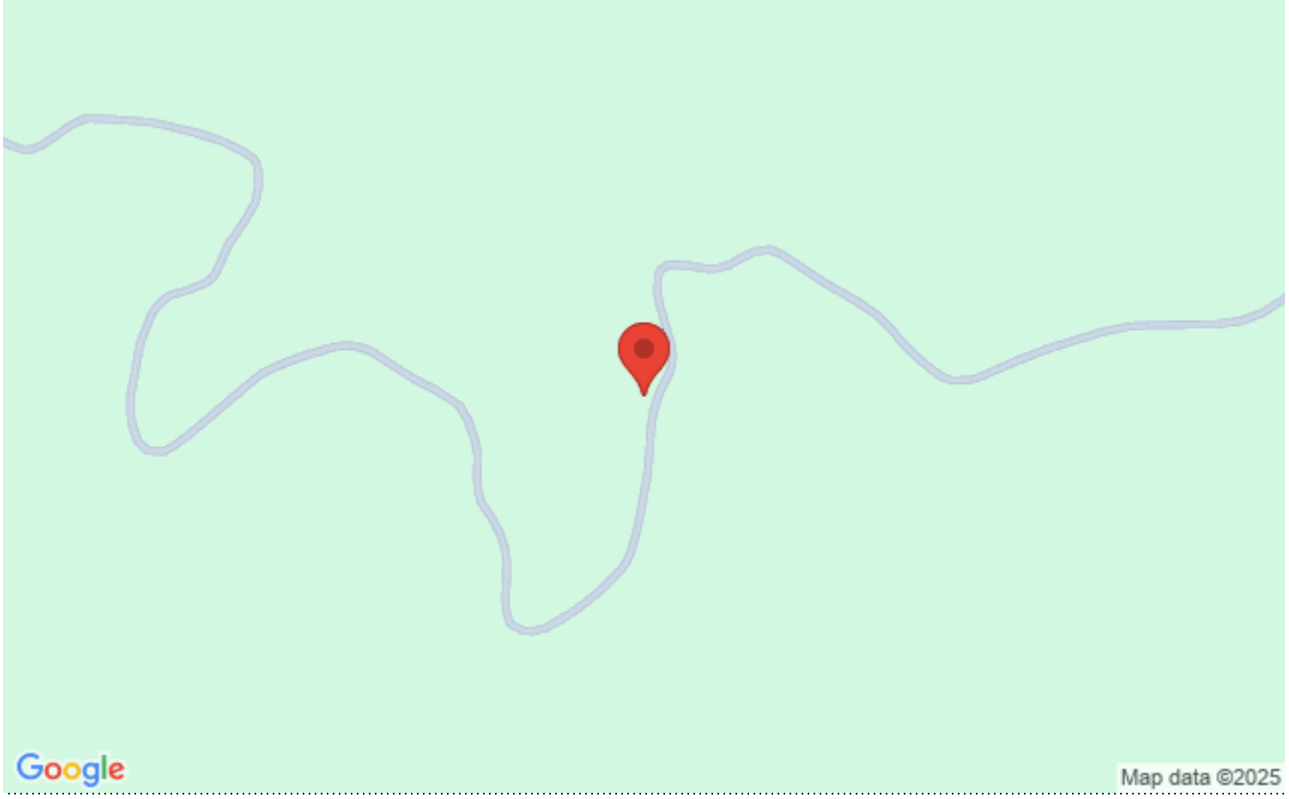
交通アクセス

湯郷温泉から南へ２km

神事一覧

夏越祓　祭礼日時：7月31日15:00　文化財指定：　無　神事詳細

検索画面に戻る



© 2016 Okayamaken Jinjacho